

CKD患者診療のエッセンス

1 CKD (慢性腎臓病) とは, 腎臓の障害 (蛋白尿など), もしくは GFR (糸球体濾過量) 60 mL/min/1.73 m² 未満の腎機能低下が 3 カ月以上持続するもの, である.

2 推算 GFR (eGFR) は以下の推算式で算出する.

$$eGFR(\text{mL}/\text{min}/1.73 \text{ m}^2) = 194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{Age}^{-0.287} \quad (\text{女性は} \times 0.739)$$

eGFR 男女・年齢別早見表, eGFR 推定のためのノモグラフは, 日本腎臓学会 HP (<http://www.jsn.or.jp/ckd/>), および「CKD 診療ガイド 2009」日本腎臓学会編に掲載しておりますのでご活用下さい.

慢性腎臓病 (CKD) の定義と病期 (ステージ) 分類

定義:

下記の 1, 2 のいずれか, または, 両方が 3 カ月以上持続する.

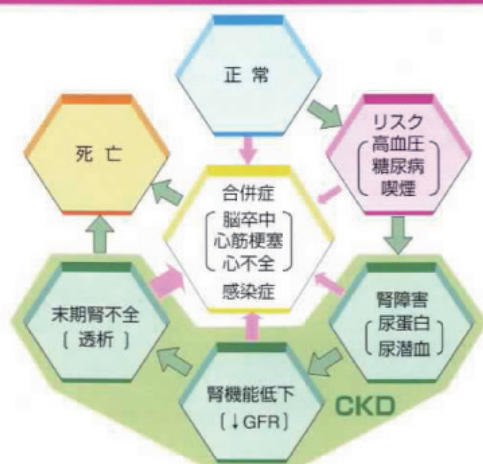
1. 腎障害の存在が明らか
(1) 蛋白尿の存在, または
(2) 蛋白尿以外の異常
病理, 画像診断,
検査 (検尿 / 血液) 等,
で腎障害の存在が明らか
2. eGFR < 60 (mL/min/1.73m²)

病期	定義	eGFR (mL/min/1.73m ²)
1	腎症はあるが, 機能は正常以上	≥90
2	T 軽度低下 中等度低下 高度低下	60-89
3		30-59
4		15-29
5	D 腎不全	<15

各ステージにおいて移植患者の場合には T を, またステージ 5 においては透析患者に D を付す.

3 CKD は, CVD (心血管疾患) および ESKD (末期腎不全) 発症の重要な危険因子である.

CKD の発症と進行の概念



CKD 発症あるいは進行のリスクファクター

- 高血圧
- 耐糖能異常, 糖尿病
- 肥満, 脂質異常症, メタボリックシンドローム
- 膠原病, 全身性感染症
- 尿路結石, 尿路感染症, 前立腺肥大
- 慢性腎臓病の家族歴・低体重出産
- 過去の健診での尿所見の異常や腎機能異常, 腎の形態異常の指摘
- 常用薬 (特に NSAIDs), サプリメントなどの服用歴
- 急性腎不全の既往
- 喫煙
- 高齢
- 片腎, 萎縮した小さい腎臓